



洞爺湖町

議会だより

No.38
8・9月会議
2015.11



写真: 9月27日 洞爺湖町婚活交流事業にて

主な内容

- 8・9月会議 審議内容 2p~
- 一般質問9名登壇 4p~
- 委員会活動レポート・研修会報告・編集後記 13p~

平成27年

8月会議

(8月21日)

町から提出の議案1件を原案通り可決しました。

【主な議案の審議内容】

補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ4175万円増額。

財田自然観察道改修工事、洞爺湖畔公衆トイレ改修工事、月浦人口芝運動公園予定地の整備、虻田中学校グラウンドフェンス設置工事による増額補正。



平成27年

9月会議

(9月15日～28日開会)

9月会議が9月15日から28日まで開催され、表彰の同意、健全化判断比率等の報告、条例の制定・一部改正、規約の変更、補正予算など、町から提出の同意1件、報告4件、議案16件、認定7件、議員提出の発議1件、意見書案2件を原案通り可決しました。

また、9人の議員が一般質問を行いました。

【主な議案の審議内容】

人事案件

○表彰の同意

公益功勞 2名
教育文化功勞 2名
自治功勞 1名

報 告

○健全化判断比率

実質公債費比率14・4%

(前年比△1・6%)

将来負担比率80・9%

(前年比△11%)

○資金不足比率

資金不足額の発生なし。

○洞爺湖町土地開発公社の清算結了

残余財産の現金1192万円を洞爺湖町へ帰属。

○株式会社グリーンステイ洞爺湖の運営状況

条例の制定・一部改正

○洞爺湖町特定個人情報保護条例の制定

マイナンバー制度導入に伴う条例の制定。

○洞爺湖町職員の給与に関する条例の一部改正

勤勉手当基礎額の変更。

○洞爺湖町手数料条例の一部改正

通知カードの再交付手数料の追加等による改正。

○洞爺湖町公園条例の一部改正

えぼし岩公園(旧ネイパル洞爺敷地)の追加による改正。

○洞爺湖町営住宅条例の一部改正

被災者等及び福島復興再生特別措置法に係る入居者資格の改正。

○洞爺湖町営バス運行条例の一部改正

洞爺地区における路線バス運行をデマンドバス運行に変更したことに伴う条例の改正。

計画の一部変更

○洞爺湖町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

事業内容の変更及び追加。

規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

団体の新規加入、脱退に伴う規約の一部変更。

○北海道市町村議会議員公務災害等事務組合規約の変更

団体の新規加入、脱退に伴

う規約の一部変更。

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

団体の新規加入、脱退に伴う規約の一部変更。

補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ4551万円増額。(次ページ表1参照)

○国民健康保険特別会計

償還金587万円の増額と予備費587万円の減額補正。

○公共下水道事業特別会計

償還金41万円、消費税134万円の増額と予備費175万円の減額補正。

○介護保険特別会計

基金積立金1224万円、償還金107万円の増額と予備費1063万円の減額補正。

○簡易水道事業特別会計

消費税86万円の増額と予備費86万円の減額補正。

○水道事業会計

委託料312万円の増額と予備費312万円の減額補正。

一般会計補正予算の主な概要（表1）

款	予 算 額	補 正 額	補正後予算額	補正の主な内容
総 務 費	3億4,208万円	2,312万円	3億6,520万円	ブランド加工研究センター冷蔵施設修繕、特定目的基金積立金など
民 生 費	14億3,363万円	47万円	14億3,410万円	入江保育所灯油配管修理
商 工 費	2億3,413万円	590万円	2億4,003万円	バス待合所新設整備、洞爺地区温泉管移設工事など
土 木 費	8億2,222万円	90万円	8億2,312万円	河川用地購入など
教 育 費	5億0,756万円	119万円	5億0,875万円	洞爺中学校受変電設備取替工事
予 備 費	1,142万円	1,393万円	2,535万円	

平成26年度各会計決算額（表2）

会 計 名		歳 入 (収入)	歳 出 (支出)	差 引 額
一 般 会 計		74億3, 413万円	72億9, 415万円	1 億3, 998万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		15億5, 953万円	15億4, 106万円	1, 847万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		9億0, 717万円	9億0, 140万円	577万円
介 護 保 険 特 別 会 計		10億4, 844万円	10億3, 781万円	1, 063万円
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計		9, 560万円	9, 195万円	365万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		1億5, 760万円	1億5, 166万円	594万円
水道事業会計	収 益 的 収 支	3億6, 548万円	3億6, 044万円	504万円
	資 本 的 収 支	3億2, 139万円	3億6, 622万円	△4, 483万円

意見書審議結果（平成27年9月会議）

議 員 名	岡崎	越前谷	五十嵐	高 臣	千 葉	立 野	小 松	沼 田	板 垣	七 戸	篠 原	大 西	下 道	結 果
意見書の内容	訓	夫	雄	太	薫	志	晃	夫	人	彦	功	智	明	
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※○：賛成 ×：反対（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

決算認定

○平成26年度一般会計ほか6会計の決算を意見を付して認定（上記表2参照）

議員発議

○洞爺湖町議会会議規則の一部改正
議会における欠席の届け出

意見書

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
○地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

について、社会情勢などを勘案し、出産の場合の届け出について新たに規定。

空き家対策の法律施行 固定資産税の特例措置に注意!

下 道 英 明 (町民連合)



質問 1

空き家対策について

問 今年5月下旬、放置しておくと危険が想定される空き家に対し自治体が撤去や修繕などが命令できる「空き家対策特別措置法」が全面施行された。この法律で町民にどんな影響があるのか。現状の空き家の実態は。

答 管理不十分な放置空き家につきまして、各自治会の熱心な調査協力により、現時点では戸建て住宅として延べ149件あります。今後対策の基本となる台帳整備を進め精査します。

問 この法律に対する当町の認識は。

答 地域における人口減少や既存の住宅、建築物の老朽化に伴い、居住その他の使用がなされていない状態の建築物、これに付属する工作物、敷地を「空き家」と定義し、放置すれば倒壊と著しく保安上危険となる建物を「特定空き家等」として定義していま

す。法に基づき改善に向けた助言、指導の対象となり、改善されない場合は、勧告の対象として、特定空き家の住宅用地に係る固定資産税の課税標準等の特例措置の対象から除外されることとなります。さらに、相当の猶予期間を設けた中で命令に従わない所有者に対し、最終的に行政代執行に及ぶと認識しています。

問 特定空き家に指定されると固定資産税の特例措置から除外されることだが、現状の軽減措置はどうか。

答 住宅が建っている土地に、税負担を軽減する観点から小規模住宅用地では200㎡まで税が6分の1に軽減されます。例として、100坪持つていれば約300㎡ですから200㎡を超える部分につきましては、一般住宅用地として建物の面積の10倍まで、3分の1に軽減されます。特定空き家に指定されれば、特例軽減から外されます。

問 空き家対策の計画策定、実施に関する組織として「空き家対策協議会」を設置すると考えるが、協議会の人は。

答 法律に基づき、首長、地域住民、議会議員、法務、不動産、建築、福祉、文化等に関する学識経験者、首長が認める者を持って構成します。



問 協議会だけでなく、空き家の所有者や地域の方が空き家に関して気軽に相談できる体制を整備する必要もあると考えます。町内の不動産屋、建築士、司法書士が地域の空き家相談員として、町民が集まる場所へ、押しかけ相談ではないが出前出張する当町独自の空き家対策はどうか。

答 これまで空き家バンク登録制度等の活用により、

登録受け付け時の相談程度は行っており、関係機関とも相談し、近隣市町の動向も注視しながら今後成立予定の協議会において計画作成の検討課題の一つとして検討します。

質問 2

広域観光圏について

問 西胆振と羊蹄山麓を中心に15市町村が振興局の垣根を越え、地域活性化に連携する方針を決めたが(仮称)羊蹄山麓・西胆振地域広域連携協議会の将来ビジョンは。

答 室蘭定住自立圏、登別洞爺広域観光圏、日胆戦略会議を基本としつつ、観光産業に関する連携として国道230号線を協力しながらしっかりと整備したい。さらに古くから関係のある虻田郡の羊蹄山麓と防災対策、災害対策を連携し、新幹線開通・延伸に向けた羊蹄山麓、西胆振への誘客などいろいろな角度から広域連携を深める努力をしたいと考えます。



東京あぶた・とうや湖会 今年で設立40周年!

沼田 松 夫 (一机会)

質問 1

安心・安全な
町づくりについて

問 使用済みガスボンベやスプレー缶の回収方法が各地で変更する機運にある。わが町はどのように対応するのか。穴開け回収を続けるのであれば、処理方法等を今一度町民や観光客に周知すべきではないか。

答 環境省より穴開けから切り替えるように指導はありますが、廃棄物処理を西胆振広域連合に一任している現状から現在の処理方法を維持していきます。再度、処理方法等について広報等で周知し、また地域担当職員が自治会に出席した時に、ご指摘の問題を説明させていただきます。キャンプ場等は、指定管理者等に指導を徹底します。

問 町内の公共施設のトイレ照明が一部、節電のために消灯されている。当町は観光地であり、日本各地でトイレの事故もあり、自動点灯す

る整備の導入は出来ないか。

答 いま、公共施設のトイレは21カ所です。その中で16カ所は感知式、またはセンサー式を導入しています。道の駅などの観光施設では、6カ所で採用しています。



ガスボンベ

質問 2

地元出身者
対策について

問 最近新聞紙上に、「ふるさと住民票」制度が提唱されているのを目にした。移住や交流人口の増加につながられないか。

答 「ふるさと住民票」という制度は、居住地とは別

の自治体との結びつきを希望する者に認めるといふ、民間シンクタンクが提唱した構想です。法律上の住民とは別に、ふるさと住民票を自治体が行い、実際に住んでいない人達に「まちづくり」に参加していただき、行政サービスを受けられるようにし、都市部と過疎地の交流人口の増加や地方の活力を高める狙いがあります。制度が出来たばかりであり、今後他市町村の動きも確認したいと考えます。また、当町に関係する方々には、町の情報をそれぞれ提供し、先方へ何か催し物があるときは祝電を打ったり、町の催事などもご案内しています。

問 札幌とうや湖会や東京あぶた・とうや湖会の会員に町の広報誌を送ることは出来ないか。会の維持や会員の増強の一助になると思うが。

答 町広報誌は、毎月10日に町内全戸配布しています。また、箱根町・三豊市と関係機関にも送付しています。洞爺湖町のホームページにおいて、住民情報ページとして最

新号から過去4年間の広報誌を見られるようにしています。札幌とうや湖会、東京あぶた・とうや湖会の一部の方には送付していますが、両会の会員で約500人が登録されており、個人情報等に十分注意しながら、今後検討して参ります。

問 東京あぶた・とうや湖会が今年で40周年を迎える。何か支援策は考えているか。

答 11月7日に開催されるので、会の旗を作成し式典で引き渡します。また式典の開催に合わせてツアーを計画しています。参加者への一部助成も検討しています。



平成25年開催された東京あぶた・とうや湖会

新たな町づくりと 地方創生への期待

五十嵐 篤 雄 (有志会)



質問 1

洞爺湖町誕生10年を
節目に新たな洞爺湖
町づくりについて

問 次年度に向け10年を意識した行事の計画は。

答 来年の3月27日に、式典とレセプションを、また合併10年の歩みなどを記載した記念誌を発行することを検討しています。

問 新たな洞爺湖町のスタートに際し、今までの検証として良くなったと把握している事柄は何か。

答 北海道洞爺湖サミットの開催、洞爺湖有珠山地域の世界ジオパーク国内第1号の認定の一方で財政の早期健全化団体の指定を受け何とか脱却することができた。

問 観光・農業・水産の3本柱の拡大につとめてきたところ。

答 二つの自治体の町民の融和や交流に努力されているが、洞爺地区では、予想外で大きく早い変化に戸惑がある。

問 二つの自治体の町民の融和や交流に努力されているが、洞爺地区では、予想外で大きく早い変化に戸惑がある。

る。行政が考える住民が期待する地域の形を示して下さい。

答 準都市計画区域として、自然豊かな文化香る地域にしていかなければと考えています。また、公営住宅法によらない低家賃で入られる住宅政策や福祉に関する施設を民間の力も借りて整備できないか検討しているところです。

質問 2

高齢者が楽しく安心して暮らせるために

問 一人暮らしの高齢者の実態についてどのように把握されているのか。

答 75歳以上の一人暮らし世帯は、8月末現在で409世帯、本町地区302世帯、洞爺地区45世帯、温泉地区62世帯となっています。持家の割合は60〜70%で仕事をされている方は数%です。

問 洞爺湖町版CCRCの調査研究の中身と日本版CCRCとの違いは。

答 日本版CCRCは、高齢者の希望の実現、地方への人の流れの推進、東京圏の高齢者問題への対応の3点が挙げられます。一方洞爺湖町版CCRCは、住んでいる高齢者の方々が生涯活躍でき、健康でアクティブな生活を送れるように目指すものです。

問 この制度を移住者の受入れに限定せず当町の高齢者にも適用できる先進的なモデル地区になれないものか。

答 高齢者の方々は、長年、私どもの町で頑張ってきた方です。しっかりとサポートしていく体制をこれから充実させていかなければならないと考えています。

問 高齢者向けの健康遊具を、児童公園などに設置して、健康づくりと同時に世代間交流につなげてはどうか。

答 健康遊具は、高齢者のみならず中高年も含めて健康づくりや老化防止に期待ができ、介護予防にもつながります。また子供と高齢者の世代間交流も図れます。設置については、洞爺高校閉校後の敷地内における公園整備計画の中で検討したいと思います。

※日本版CCRC

都会の高齢者が移り住み、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送ることができるような地域共同体。

CCRC
(Continuing Care Retirement Community)



ひまわり団地の健康遊具



地域の創生は 大学の誘致から!

岡崎 訓 (町民連合)

質問 1

国道と道道の町の
対応について

問 国道230号線と洞爺岩内線(一の原)の確認しづらい危険な交差点の安全対策をすべきではないか。

答 交差点改良は大変厳しく、草刈り等の回数をふやすなど環境整備を室蘭開発建設部有珠復旧事務所にお問い合わせしました。

問 国道230号の老朽化した側溝の管理をすべきではないか。

答 室蘭開発建設部有珠復旧事務所によると、道路の横断勾配が緩く難しい所です。集中豪雨などの時に重要点検箇所として、排水状況の確認をし、今後検討をするとのこと。また、今回羊蹄山麓と西胆振の連携会議で室蘭開発建設部に、230号線の対策を講じるよう訴えており今後も続けてまいります。

質問 2

活力ある
地域づくりについて



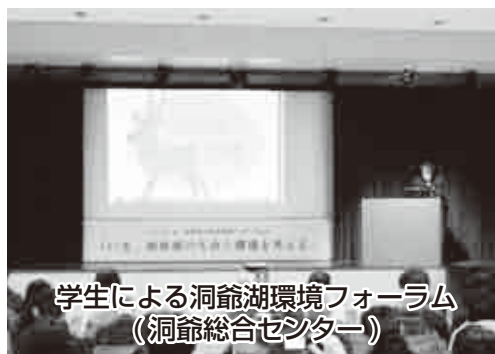
安全対策が急がれる交差点付近

問 旧成香小で某大学が中島のエゾシカ、湖の外來種ウチダザリガニ等の生態調査、研究で実績をあげているがどう受け止めているか。

答 大学が旧成香小をサテライト校として、環境共生学類の学生の活動拠点としており、毎年洞爺湖生物多様性フォーラムが学生によって、町内で開催されております。また、住民と学生の交流会、お祭りへの参加、洞爺湖マラソン等イベント協力もいただいております。

問 地域の創生を考える上で、洞青寮の活用として、町とつながりの深い大学の学

答 部誘致をすべきではないか。大学はサテライトということでは来ましたが、今後大学と話しをしてまいります。



学生による洞爺湖環境フォーラム
(洞爺総合センター)

問 洞爺ふれ愛センターの外壁、屋根の補修時期が来ているが迅速に行なうべきではないか。

答 今年度旧診療所を展示施設として改修をします。あわせて屋根の防水工事、壁の塗装工事を実施します。また、ふれ愛センターの外壁については、来年度早い時期に改修を致します。

◆質問などは要約されています◆

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

お問い合わせ／議会事務局 ☎0142-74-3011

社会教育の充実と 農業、畜産業の振興対策を!

大 西 智 (有志会)



質問 1

社会教育の ありかたについて

青年、成人のリーダー養成を、どの様に行っていくのか、またされてきたのか。

問 青年、成人のリーダー養成を、どの様に行っていくのか、またされてきたのか。

答 各種事業のニーズに応え、学習機会を提供しながら積極的な参加が図られるよう支援を行い、青年団体等が実施しているイベントへの協力、活動支援を取り組んでいます。また具体的な取り組みとして、新成人の集い、女性リーダー研修などを実施しています。

問 若者が生涯学習をするための環境づくりをどの様に、考えていくのか。

答 若者層については、多様な体験活動を通じ、社会性、主体性を身につけてもらい地域の一員として自覚を持つていただきたいと思います。社会教育、体育、文化の振興を柱として、町内の学習資源を活用した事業を展開し、豊かな人間性の育成など時代が超えても変わらない大切なも

のを、しっかりと次世代に継承できる体制と環境づくりをめざしていきます。

問 若者が今の時代にしか経験できないような、町の未来につながる研修事業の考えはないのか。

答 若者に対する人材育成も含めて、あらゆる機会を提供する事で、研修会、体験学習を小学生から高齢者まで学んでいただいています。自治体が一部助成をして、研修に送り出したこともありましたが、なかなか難しい時代背景になり、少子化により町の次の時代を担う方々が少ない中で、なおさら人材育成の面で研修等必要かと思っています。町が一定の研修の機会を支援するということの必要性も十分認識しており、検討をさせて頂きたいと思っています。

質問 2

農業・畜産業の 振興対策について

問 多面的機能支払い事業の状況と、農業政策で今年

度なくなった事業の検証はされたのか。

答 現在93名の方が事業に取り組んでいて、農地の総面積は、1647・61ヘクタールで、事業費の総額は2160万円です。農業振興支援の見直しですが、農業用廃プラスチック事業については、4年の助成で事業効果があつたものと考え、本年度から生分解性マルチ普及拡大事業に事業内容を変更し、労働力の軽減になると思っています。

ユウキあるクリーン農業推進事業は長期にわたり助成をしてきましたが、これも事業効果があつたと考えています。補助事業については、原則3年間で、支援していく考えています。

問 農協等、関係機関と協議しながら、畜産クラスター事業に取り組む考えはないのか。また協議会設立の考えは。

答 町内の畜産農家で事業実施を希望する声がありますので、とうや湖農協と連携を図り、畜産農家の意向を把

握しながら協議会の設立と計画策定に取り組んでいきます。

問 まちづくり総合計画修正版に、農業主要施策として生産性、収益性の高い農業の推進など多くの施策をうちだしているが、これらの施策を年次的に、具体的にどのように進めていくのか。





子育て支援の充実 窓口の一本化！

千葉 薫（有志会）

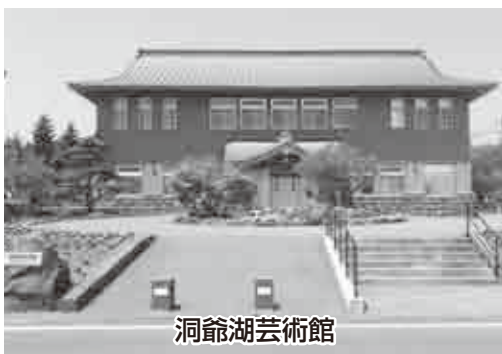
質問 1

観光施設の利用状況
及び今後について

問 各施設の利用状況は。

答 観光振興課所管として森林博物館、文化センター、サミット記念館、西山金比羅山散策路の4件、その他、火山科学館、ビジターセンター、総合支所の水の駅、芸術館、カヌーハウス、社会教育の入江高砂貝塚館の10件があります。

森林博物館はこの10年、7000人から8000人台、



洞爺湖芸術館

文化センターは約14000人の利用状況、サミット記念館は約8000人、西山・金比羅山散策路は80000人の入り込みです。火山科学館は40000人ビジターセンターは67000人、貝塚館は18000人台で推移していましたが、昨年は26000人に増えています。洞爺水の駅は、昨年約20万人と順調に推移しており、芸術館についても30000人を超えています。カヌー体験ハウスの利用状況は42艇を預かっており、100艇前後を貸し出している状況です。

問 昨年、観光施設等利活用検討委員会が設けられているが、その競技内容について。

答 昨年度末までに3回、会議が開催されています。町内の公園は除き観光客をターゲットとした施設を検討しており、文化センターの照明音響の劣化、サミット記念館のあり方、森林博物館についての見直しが必要という意見がありました。予算の問題



洞爺湖森林博物館

もあるので、年内をめどに方向性を町の方に提出したいと思っています。

問 森林博物館の改修及び屋内の展示物なども考えていくべきと思うが。

答 森林博物館は築50年になり、町に移管されてからも47年が経過しており、幾度か改修をしています。中島には、博物館以外にも町のトイレ、民間企業の売店体験施設等もあり関係省庁と協議をして、進めて行きます。

質問 2

少子化、子育て支援
対策について

問 近隣他市町と比べても人口の減少率は大きいと思う。少子化、子育て支援対策としてどのような事を行っているのか。

答 今年度から実施したものの、中学生までの医療費助成、インフルエンザ予防接種の無料化、一時預かり保育などを行っています。また今年度中に、子育て応援ガイドブックを作成し情報を発信していきます。

問 少子化、子育てにおいて悩みや要望があると思うが対応は。

答 家庭訪問や健診時など随時お話を伺っています。子育て支援においては、業務が多様化しており、窓口を一本化出来るよう検討していきます。

問 今後出生率を上げると言う事だが具体例があれば示して頂きたい。

答 子供を出産後安心して働ける環境の充実から、ファミリーサポートセンター事業について調査研究をしています。

町内業者で出来る仕事は 町内業者に発注を

七戸 輝彦 (公明党)



質問 1

毒蛾の大発生と、これからの対策について

問 今年は何年に見られないほど毒蛾が発生した。これほどの事は過去にあったか。

答 統計は残っていませんが、19年前の1996年にも北海道南西部で大量発生し、

苫小牧市と室蘭市で調査が行われたという記録が残っています。大量発生メカニズムについては、不明です。

問 毒蛾による症状で、通院した数等を伺いたい。

答 症状としてはかゆみと発疹がほとんどで、痛みを訴える方は少なかったという事です。町内の医療機関を受診された方は436名で、シヨック症状を起こした方はい



毒蛾の幼虫

なかったと聞いています。

問 町の施設での発生と対応はどのように行ったか。

答 高砂団地等4つの公営住宅では、毒蛾の成虫の発生も多く、専用の殺虫剤を配布しました。また、虹中、入江保育所、教員住宅、公園等では動力噴霧器による薬剤散布をしました。

問 毒蛾の成虫の色、形は余り知られていない。来年はカラーのチラシで啓発を。

答 カラー写真を用いて、啓発を行いたいと思います。

質問 2

高齢者の方も使える公園について

問 高砂公園に高齢者向けの遊具があると良いと思います。この点について伺います。

答 昨日も答弁しましたが、高齢者の健康づくりの場を確保するために大変重要な事と考えています。まず、洞爺高校の閉校後の跡地内への設置を検討して参ります。

質問 3

人工芝サッカー場と旧月浦小の解体について

問 人工芝サッカー場建設の為、旧月浦小学校が解体される。改めて建物の解体、整地、その後のタイムスケジュールを確認したい。

答 10月から用地測量や建物の解体に着手致します。議会で、新年度予算が承認されましたら、新年度早々から造成工事を行い、整地完成後に人工芝工事や関連工事を行う予定です。その後、冬期間を養生期間とし、平成29年の春から利用できるように工事を取り進めて参ります。

問 以前の全員協議会で、建設費の概要が示された。

答 民間方式と説明されたプロポーザル方式の発注では約2億円、町の従来型の発注方式では約3億円かかる(経費別)との説明だった。公共方式で注文すると高くなるという感覚が分からない。今までの町の発注の仕方は何だったのかという事にもなりかねないが、

答 プロポーザル方式を採用して設計から施工まで一括で発注する事により、共通仮設費、現場管理費、一般管理費などの諸経費が安くなります。しかし、今の3億円が2億円というのは、私はそこまで言えない部分があると思います。

問 今まで、町の仕事はJVを組んだり、指名競争入札などで発注してきた。なぜ今回だけ段取りよく1年も前から「プロポーザル方式」の発注方式だけ早々と決めたのか分からない。人工芝を敷設する事以外の大半の部分は町内業者で十分に建設が可能ではないか。

答 フェンス工事、路盤工事、屋外照明工事など、どこまでプロポーザル方式にするのかは今後検討致します。

問 町内で今回の仕事をすれば、町の経済の好循環をよぶ。そのような考えは。

答 これまでも町の工事は町内業者を中心に発注してきました。今後同様と考えています。



民間の資金を活用した サッカー場の建設と運営を!!

立 野 広 志

質問 1

**投票区及び投票所
の見直しについて**

問 高齢者や障害者にとって、交通機関が不十分な現状で、有権者の政治に参加する権利や投票権を保障し、投票しやすい環境を整備することは、選挙管理委員会や町行政にとっての責任ではないか。

答 遠距離地区投票区の見直しについては、自宅から投票所まで3キロメートル以上離れている投票区が数力所あることから、検討を行っていく必要があるものと考えています。投票区の見直しについては、投票所までの距離など、住民の意向なども把握しながら、より投票しやすい環境づくりを進めるため、検討してまいります。



質問 2

**後期高齢者医療の特例軽減
措置及び検診受診率について**

問 特例軽減措置が廃止された場合の影響額(負担額)を示されたい。

答 均等割が9割軽減の方は、51000円が15400円(103000円の負担増)に、8・5割軽減の方は7700円が15400円(7700円の負担増)となります。所得割軽減については、一律に言えませんが、平成27年度当初の全体としての影響額は1424万円ほどの負担増となる状況です。

問 平成24年度の検診受診率が北海道全体では、11・33%(全国24・5%)町の検診受診率が4・56%と極めて低い。平成26年度の受診率7・86%と検診受診率がわずかに伸びているとはいえ、全道的でも115番目と低いのは何故か。

答 健診受診率が低い要因として、急激な高齢化社会

の進展に伴い、後期高齢者医療制度の被保険者数の増加に対し受診者の数が追いつかない状況が続いていること。また、高齢者の多くが何らかの医療機関に受診をしている事があげられます。

問 道広域連合は、保健師の派遣、情報提供等の支援、人間ドック等への費用助成、医療費分析結果の提供などの「保健事業に関する事務」を行っているが、実績と成果はあるか。

答 当町は、事業の実施を要望していません。

問 受診率の引き上げを検討し、実践してきたのか。

答 町の後期高齢者の健診受診率が非常に低いことから、そのところはしっかりと勉強しながら受診率向上に向けて努力してまいります。

質問 3

構想段階から多額な赤字が想定されるサッカー場建設について

問 サッカー場建設後の経済効果とその具体的根拠は何か。

答 経済産業省の産業関連表による経済波及効果の計算によれば、年間1億232万6000円の経済効果が発生するという結果が出ています。

問 年間で運営費や人工芝のメンテナンスなどで100万円必要でありながら、それだけの収益が見込めない。利益は事業所が、運営費の赤字は町が税金で負担するのでなく、地域の事業者なり恩恵を受ける人たちが浄財も受けながらこの施設をつくり運営していくことを考えるべきではないか。

答 建設費及び運営費について民間からの財源確保は考えていません。まず、町がこの施設を整備して、誘致を働きかけ、環境の整備を整えていきます。



防犯力の強い 洞爺湖町めざして

越前谷 邦 夫 (一机会)



質問 1

**安心安全な地域社会
創造に向けた防犯対策、
防犯教育について**

問 洞爺湖町教育現場でどのような防犯教育が行われているのか。その教育内容は

答 一つ目は帰宅時間や児童生徒が一人では行っていない場所等をまとめた「生活のきまり」についての指導、ならびに全保護者への配布。二つ目として、夏休みや冬休みには「生活のきまり」特別版を全保護者、町内全戸への配布。三つ目は、インターネットによる防犯対策として北海道教育委員会作成の保護者向け啓発リーフレットの配布。四つ目は、小学1年生から中学3年生までの全児童に、町防犯協会からいただいた防犯ブザーについて、登下校時の所持徹底や使い方の指導。五つ目は町内の神社祭典開催などにおいて、補導委員会による巡回指導などの取り組みを行っています。また、

一部の学校では伊達警察署や防犯協会の協力を得て、防犯に関する講話や、知らない人に捕まったときの逃げ方の実践的な訓練を行うなどの防犯教室を行っています。

問 防犯は、社会全体の協力で進めなければならない。北海道内で2014年に飲酒や喫煙など、不良行為により、補導された少年は1万5000人、内5000人あまりが深夜徘徊だった。洞爺湖町の実態は。

答 少年補導の件数は伊達警察署管内で平成27年度6月末現在で16件、洞爺湖町においては平成26年度3月末で1件です。

問 社会の連携で犯罪を防ぐことが重要である。町防犯協会と連携して活動の強化を目指す、また支援するような組織化を図るべきではないか。

答 「子供110番の家」登録件数は140件ですが、数年前の登録状況です。現在登録されている方々の協力等について再度検証する時期に

来ていると認識しています。外国人が多いことによる看板等の表示多言語化については、防犯の標語的な部分は日本語だけで外国語等の表記は現状ない状況です。

現在、防災行政無線を全地区に配備するという事で整備を進めており、防災行政無線とあわせて教育委員会、学校関係、自治会、各関係機関と連携をとりながら、地域の皆さんのご協力を得て子供たちを守っていただけるようなシステムを構築していきます。今ある制度に不足面もございまして、再度見直しをしながら足りない部分については補っていく必要があるだろうと思います。地域住民の力の結束があれば未然に子供たちを救える手段の一つになるかも知れない。地域住民、特に自治会、関係機関と連携を図りながら事を進めてまいりたいと考えております。

質問 2

北海道新幹線開業に向けた町の取組みについて

問 北海道新幹線開業まで約6ヶ月となった。洞爺湖観光の躍動に向けた官民一体となった政策はあるのか。

答 北海道新幹線利用客の誘致は広域観光圏、日胆戦路会議で取り組んでいる状況ですが、白老、登別は洞爺湖温泉の脅威になるかと考えております。地域住民の皆さんと一体とならなければ、良い行政運営はできません。新幹線問題は早く、幟(のぼり)等住民にわかるように提示し、一緒に取り組んでまいりたいと考えております。



委員会活動レポート

総務常任委員会

■調査事項

社会福祉協議会の現況について

◆調査日

7月2日（木）

◆調査結果と意見

① 洞爺支所では、訪問介護と通所介護が行われている。訪問介護は旧虻田地区への訪問が増加したことから、移動時間を含む作業時間の増加が大きな負担となっている。職員の殆んどは嘱託職員が臨時職員のため、人員確保や賃金の面で、安定的なサービス体制を維持す



社協職員から状況を聞く

ることが厳しい状況にある。特に介護保険法の改正で介護報酬が減額され、事業の安定的運営のためには、行政の財政支援と人的支援の対応が求められます。

② 社会福祉協議会が所有する車両の老朽化が著しく、更新が切望されている。助成事業による車両の更新を待つだけでなく、行政としても独自の支援が必要と考えられます。

③ 社会福祉協議会は、通常の業務以外に7団体（自治会連合会・老人クラブ連合会・遺族会・ボランティア連絡協議会・自衛隊協力会・

経済常任委員会

■調査事項

虻田中学校耐震化工事の進捗状況について

◆調査日

7月13日（月）

◆調査結果と意見

① 平成26年度から、虻田中学



工事現場を視察

他）の事務を担っており、限られた職員のもとで、本来の業務に支障をきたしている状況は依然として改善されていない。行政としても事務委託のあり方について検討すべきです。

町民と議員との懇談会

開催のあり方を検討するため、今年度は中止します。

③ 災害時に対する避難訓練、

校各教室の壁の新設、壁の打増しなどによる校舎の耐震化工事が施工されています。

④ 今後も、築数十年も経過していることから校舎全体の老朽化が進んでおり、生徒、教職員が安心して授業に取り組めるように、計画的な維持管理の推進が必要と考えられます。

議会では町民の皆様の意見を承る場として、又、議会活動をより詳しく知っていただく場として、洞爺湖町になってから、11月と3月に懇談会・報告会を洞爺地区・洞爺湖温泉地区・本町地区3ヶ所で開催して参りました。

この度、内容を見直すため、一旦休止し、新たな出発をいたしたく存じます。新しい方向がはつきりしましたら又皆様に御案内申し上げます。又、懇談会等の持ち方について御意見などがございましたら議会事務局までお問い合わせ下さい。

今後とも議会の活動に対しご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

洞爺湖町議会 議長 佐々木 良一

全道議会広報研修 会に参加しました



議会広報常任委員会は、8月19日、ポールスター札幌で開催された『議会広報研修会』に参加しました。この研修会には、全道109町村から574人が出席しました。

講師として、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏が、「議会広報紙の表現基本」と題して講演が行われ、紙面編

集のポイントや広報紙の書体、文字組、レイアウトの方法などが詳しく解説されました。

その後、道内9町の議会広報紙を題材に、実践的な批評や工夫のポイントを指摘し、住民に分かりやすい議会広報紙づくりのアドバイスが行われました。

(立野)



編集 後記

短い夏が終わり、秋の風が吹き始めた9月中旬に行われた議会では、9名の一般質問と平成26年度の決算審議が行われました。この議会だよりがお手元に届く頃には、すっかりと冬の風が変わっていることでしょう。

表紙の写真は9月27日に行われた洞爺湖町婚活交流事業でのワンシーンです。モノトーンの紙面では分かりませんが、秋晴れの空を映した湖面に向かつて並ぶお二人の姿がとても素敵だったので表紙の写真として使わせていただきました。

議会だよりとしては異色の表紙となってしまっただうですが、これからの洞爺湖町を作り、支える若い方の暖かい風景を感じていただけたらと思います。

(高臣)

議会のういき

8月

2423 21191816108 5 4
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
三重県志摩市議会行政視察
戦没者追悼式(虹田地区)
三重県津市議会行政視察
湯前薬師如来祈願法要
大原開拓祭り
虹田神社例大祭
議会運営委員会
全道町村議会広報研修会
8月会議
全員協議会
会派代表者会議
アイアンマンジャパン・ウエルカムパーティー
アイアンマンジャパン北海道大会
例月出納検査
アイアンマンジャパン・アフー

9月

151513 1210 8 7 6 5 4
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
ドパーティー
平成26年度各会計決算審査(監査委員)
経済常任委員会・協議会
総務常任委員会・協議会
会派代表者会議
香川出雲神社祭典
大原相馬妙見神社祭典
成香神社祭典
花和神社祭典
議会運営委員会
議会広報常任委員会
英国ボランテア青年歓迎会
第28回北海道ツーデーマーチ
洞爺八幡神社例大祭
9月会議
決算特別委員会

10月

27262120191816 13 9 7 4 292726
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
ゆうあいフェスティバル
洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭
例月出納検査
月浦ワイン祭り
経済常任委員会所管事務調査
(えぼし岩公園)・協議会
総務常任委員会所管事務調査
(学校、保育所)
総務常任委員会所管事務調査
(学校、保育所)・協議会
群馬県草津町議会行政視察
洞爺湖消防団秋季消防演習
第4回大秋穫祭
高齢者運動会
議会運営委員会
議会広報常任委員会
例月出納検査
議会広報常任委員会